

2019年9月27日

各位

会社名 マックスバリュ東北株式会社
代表者名 代表取締役社長 佐々木智佳子
(コード番号 2655 東証第2部)
問合せ先 常務取締役管理本部長古谷憲介
(電話 018-847-0111)
当社の親会社 イオン株式会社
取締役兼代表執行役社長 岡田元也
(コード番号 8267 東証第1部)

特別損失・特別利益の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年2月期第2四半期において、固定資産の減損処理及び震災による特別損失・特別利益を計上するとともに、2019年4月10日に公表しました業績予想を下記の通り修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失・特別利益の計上

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当社が保有する店舗等の一部の固定資産について、収益性の低下等による減損の兆候が認められたため、その認識・測定を行った結果、2020年2月期第2四半期において、固定資産の減損損失1億13百万円を特別損失として計上することといたしました。

また、2019年6月18日に発生した「山形県沖地震」に起因する一部店舗での設備損壊及び商品の廃棄被害を受けたことによる、店舗設備の修繕および商品の廃棄にかかる費用45百万円を「災害による損失」として特別損失に計上いたしました。また、当第2四半期会計期間までに確定した保険金38百万円を「受取保険金」として特別利益に計上いたしました。

2. 業績予想数値の修正

2020年2月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(2019年3月1日~2019年8月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	53,800	660	660	280	15 37
今回発表予想 (B)	51,500	330	330	85	4 66
増減額 (B) - (A)	△ 2,300	△ 330	△ 330	△ 195	
増減率 (%)	△ 4.3	△50.0	△50.0	△69.6	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2019年2月期第2四半期)	53,316	622	653	278	15 29

3. 修正の理由

2020年2月期第2四半期の業績については、競合各社との価格競争や業種・業態を超えた競争が激化するなど厳しい状況の中、曜日市やWAONポイント販促による客数の確保及び商品鮮度

向上のための生産地から店舗への納品リードタイムの短縮や簡便調理商品の売場拡大による生鮮食品の強化に取り組んでまいりましたが、客数前期比が96.8%となり営業収益は515億円となる見込みです。売上総利益率は前年同期より改善する見込みであります。経費面においてはコスト構造改革を継続して進めて参りましたが、WAONカード販促等の経費が前年を上回った結果、営業利益及び経常利益はそれぞれ当初予想を下回り、営業利益、経常利益ともに3億30百万円となる見込みです。

また、当期純利益は今回特別損失を計上することにより、当初業績予想を下回り85百万円の当期純利益になる見込みです。

なお、2020年2月期（通期）の業績予想につきましては、2019年4月10日に公表いたしました業績予想からの変更はございません。

営業収益改善に向けて、現在取り組んでおります曜日市及び夕刻の客数改善のための更なる販促強化、既存店舗におけるお客さまの声を売場に反映させるための品揃えの見直しや、商品の陳列変更等を定期的に行うとともに、当期の取り組み事項の進捗管理を重点的に行ってまいります。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の実績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上